

学校と利用者をつなぐWEB管理システムと受益者負担による施設環境改善

- 茨城県つくば市立谷田部東中学校の学校体育施設の有効活用に向け、WEBシステムの構築・導入により、空き時間の見える化を図り、学校行事、部活動、プログラムのスケジュール管理・予約調整の円滑化を実現。
- プログラムの受益者負担による施設環境の改善、そしてその場所を他のスポーツの場として活用。

事業の趣旨・概要

事業実施にあたり課題認識

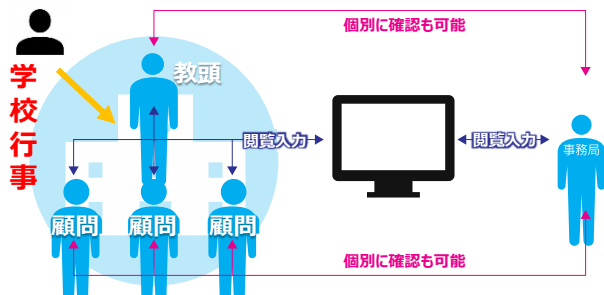
- 学校開放時の予定管理等がアナログ的で非効率
- スケジュール把握に時間がかかる
- 実利用時間以上の占有
- 管理区分が午前・午後の2区分
- プログラム利用者への連絡が都度メール、電話

- （前年度）テニスコートの施設充実
- 寄付により照明設置の可否
- テニスコートの設備の老朽化
- テニスのネット用支柱が錆が進行し、脱着可能であった支柱が脱着不可

本事業での実施内容

WEBシステムを用いた学校行事、部活動、プログラムの**予約管理**とプログラム指導者、利用者への**外部周知**。

受益者負担による施設環境の整備（テニスコート）。会員制プログラムの提供による受益者負担を導入し、その原資より、照明電気代を支払うほか、支柱の取り替えを行い、**脱着可能として多目的に活用**。



事業の成果

①行政、学校、クラブの3者による協議会の有効性

- 学校体育施設の有効活用を推進していくためには、行政、学校、民間組織（事務局）の3者での協議を行うための場を設け、議論を重ねていくことが重要



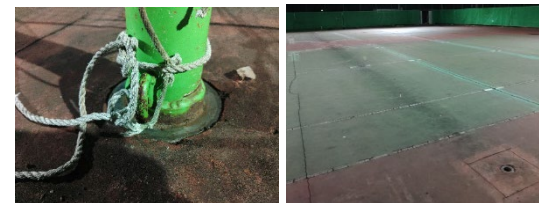
②民間団体による細やかな時間管理実現

- WEBシステムによるクラウド上の管理の利便性に期待
- WEBによるプログラム告知による参加者の拡大



③受益者負担による施設環境の整備

- 支柱を着脱可能な物に交換した種目で利用可能



今後の展望

- WEBシステムを学校内にて運用するには、テスト期間も含め時間と手間がかかってしまうことから、双方の理解を段階的に高め、取組を進める必要がある。
- 学校体育施設であるが故に、公平性が保たれる配慮が重要となってくる。法律、条例を遵守した上での事業の遂行が大きな鍵となる。